

Business



三 | 富士通ゼネラルグループの事業 |

■ 高収益化に向けたビジネスラインの再編

高収益体制の実現に向け、2024年10月からビジネスラインを「空調機部門」と「テックソリューション部門」の2部門に集約しました。

空調部門

家庭用エアコン（壁掛け・床置き）



// （天井カセット・ダクト）



ビル用マルチエアコン（VRF）



ヒートポンプ式温水暖房システム（ATW）



ユニタリーエアコン（ダクト式全館空調）



サービスソリューション



テックソリューション部門

情報通信システム（消防・防災）



消防システム



防災無線システム

// （民需システム）

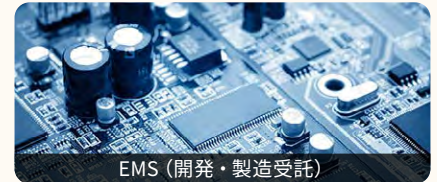


外食産業向けソリューション



医療向け外来情報ソリューション

電子デバイス



EMS（開発・製造受託）

新規ビジネス



ウェアラブルエアコン

三 | 空調機部門 |

■ 2024 年度実績

空調機部門では、市場低迷による欧州向けの販売減があったものの、流通在庫適正化のため前年度の出荷水準が低かった北米向けの出荷が回復するとともに、受注が好調な中東や市場が拡大しているインド向け等の販売が増加したことなどから、売上高は3,157億9千5百万円（前年度比12.5%増）となりました。営業利益は、北米における冷媒転換対応などのマイナス要因がありましたが、在庫適正化のため前期の出荷を抑制した海外向け空調機の増収効果が大きいことに加え、コストダウンの着実な進展により、74億3千4百万円（同1,708.0%増）となりました。

売上高 **3,158** 億円

日本
512 億円

米州
548 億円

欧州
653 億円

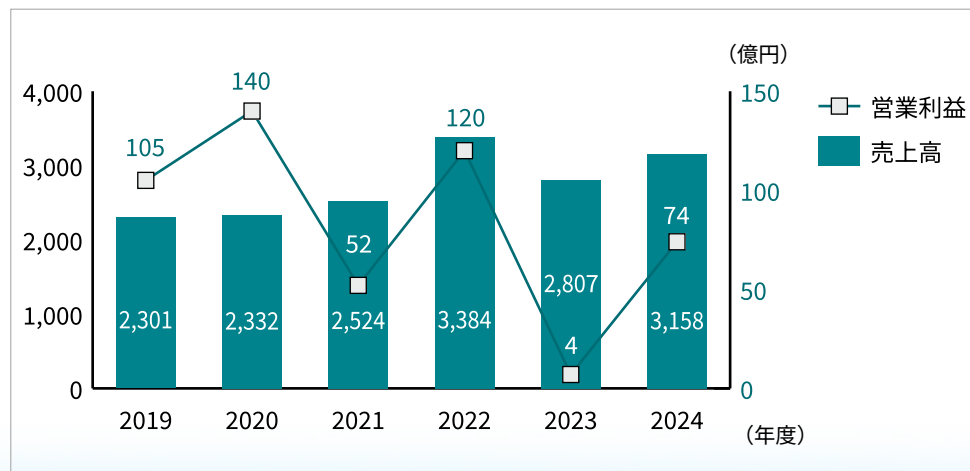
中東・アフリカ
375 億円

オセアニア
440 億円

アジア
525 億円

中華圏
105 億円

■ 業績推移（空調機部門）



三 | テックソリューション部門 |

■ 2024 年度実績（情報通信システム）

売上高は、260億2千3百万円（同24.2%増）となりました。

公共システムにおいて、消防の広域化・共同運用事業の本格化や、防災・減災対応のインフラ整備事業に対する財政措置を背景に、消防指令システムおよび消防無線システムを中心に商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入が順調に進展し、売上が増加しました。なお、来年度の納入に向けた受注も順調に推移しております。

売上高 **260** 億円

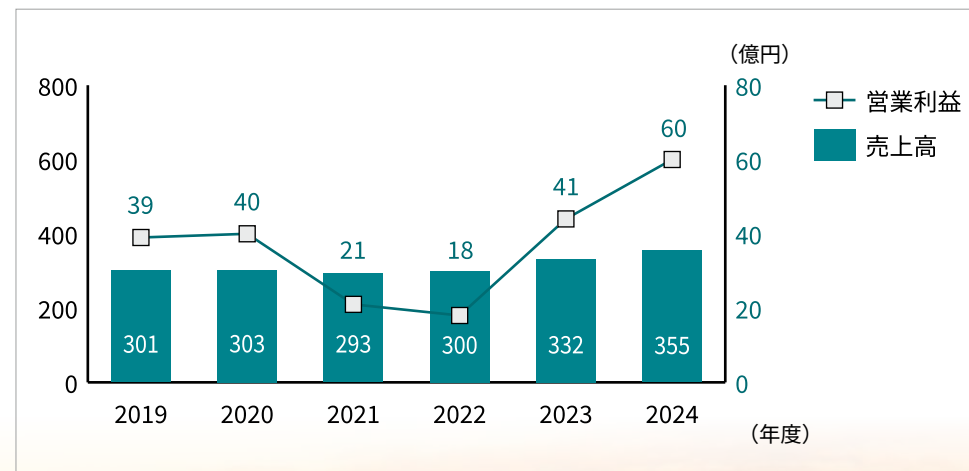
■ 2024 年度実績（電子デバイス、他）

売上高は、94億6千2百万円（同23.0%減）となりました。

産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞で販売が減少したほか、車載カメラの販売減もあり、売上が減少しました。

売上高 **95** 億円

■ 業績推移（テックソリューション部門）



* 2024年度のセグメント別実績から、報告セグメント（空調機・テックソリューション）の内訳を変更しています。また「前年度比」算出時の内訳を合わせるため、2023年度のセグメント別実績を、昨年の公表値から変更しています。